

Rié

Smarten Up Your English



聞き返されないうために
押さえておきたい
注意点と英語の発音
7つのポイント

イギリス英語発音改善 | 平松里英 | SCHOOL.RIE.LONDON

聞き返されてしまう原因は？

外国人と英語で話したときに何度も聞き返されると、へこみますよね。
とっさに発音のせいだと思ってしまいがちですが、そうとは限りません。

発音以外に考えられる4つの原因

- ✕ **声が小さい**
発音ではなくて発声である可能性がかなりあるんです。
発声、つまり声が小さくて相手によく聞こえてないことが原因かも知れないということです。
- ✕ **滑舌がよくない**
ぼそぼそ、ごによごによと口先だけで音を出すと音が不明瞭になります。
日本語は比較的口の前のほう、口先だけで音を出す傾向があります。
ですが、英語は口の奥のほうまで使って音を出します。また、英語の発音がどうと言うよりも、滑舌が良くないのかも知れません。この場合、まず日本語の滑舌から良くするように努めると、英語にも効果がある可能性があります。
- ✕ **早口になっている**
早口もわかりづらくなります。日本語でも、あまり早口だとわかりづらくて相手に聞き返すことがありますよね。母語ではない英語になれば、日本語訛りもプラスされ、聞き返されてしまうリスクは高いです。
- ✕ **相手が聞いていない**
他にも、相手がたまたま聞いていなかったという場合もあります。相手が他のことを考えていた、気が散っていたからかもしれません。

相手の**注意が削がれないように工夫**することはよいことです。
例えば、大事なところから話をする、**結論から話をする**など、話し方を工夫する必要があるかも知れません。ですが、**落ち込みすぎる必要はありません**。



聞き返されないための7つのポイント

押さえておきたい3つの注意点

- ★ 単語だけでなくフルセンテンスで答える
- ★ ストレスを意識して話す
- ★ カタカナ英語をそのまま言わない

発音の4つのポイント

- ★ もっと使う息の量を増やす
- ★ もっと口を大きく開ける
- ★ もっと声を出す
- ★ もっと唇や舌を使う

聞き返されない為の

押さえておきたい3つの**注意点**

1 センテンスが短くてもフレーズで答える
単語一つだけで答えると、その発音が間違っていると完全にアウトになってしまいますが、前後によくセットで使われる語が付いていると、聞き取れた部分を手掛かりにして理解してくれるので分かりやすくなります。

2 ストレス（強勢）を意識して話す
英語の場合、まず強弱を意識することが大切です。日本語は強弱ではなく音の高低（イントネーション）を重視します。強弱がない英語や強弱が間違っていると英語は分かりにくくなります。

3 カタカナ語をそのまま言わない
他の言語と比べて外来語として日本語になっている語が英語には沢山あります。外来語になっている英単語も、カタカナの音と実際の英語の音ではだいぶちがうので、カタカナをそのまま発音すると通じないことが多いです。言おうと思っている外来語が英語でどんな音なのか音声を確認するようにしてください。

日本語には「L」と「R」は区別せずどちらも「ラ行」になるので、カタカナ表記のままでは元の英語のつづりがわかりません。カタカナで書くと「え、ぜんぜん違うじゃん！」と思いますが、「L」と「R」を混同するとこの三つの区別がつきづらく、相手が混乱してしまう可能性があります。

聞き返されない為の

発音 4つのポイント

「うーん、やっぱり発音のせいだと思う…！」

という方、**発音指導を受ける前に**、
まず以下の**4つ**のことを心がけてみてください。

1

もっと使う息の量を増やす

- 日本語は息の量が**小型車**で省エネ、英語は**大型車**。
- [p] や [b]、[t] や [d] では特に意識して**息を溜めて吐き出す**。
- とにかく息をたくさん使うこと。

2

もっと口を大きく開ける

- 口を大きく開けて、喉を塞がない。
- 手で口を塞がない、舌や歯や唇で喉を塞がない。
- 面倒でもかならず**鏡を使って確認**する。

3

もっと声を出す

- 声帯に力を入れて声を張り上げるのではありません。
- 力まず、リラックスして喉を開いて声を出します。
- アニメの声優のような**鼻から抜ける声**ではなく、息は口から、楽器のように**体全体が響く**ように出します。

4

もっと唇や舌を使う

- 口をしっかりと開け、唇や舌を日本語の何倍もしっかりと使う。
- 両唇を合わせるとき、舌を歯の裏に押し付けるとき**しっかりと**。
- **摩擦させるときは長く振動**させ、**破裂させるときは溜めて爆発**させる。

聞き返されないための7つのポイント

Check List

押さえておきたい3つの注意点

- 単語だけでなくフルセンテンスで答える**
聞き取れた部分を手掛かりにして理解してくれます。
- ストレスを意識して話す**
強弱がない英語や強弱が間違っていると分かりにくくなります。
- カタカナ英語をそのまま言わない**
カタカナをそのまま発音すると通じません。

発音の4つのポイント

- もっと使う息の量を増やす**
息を溜めて吐き出す、とにかく息をたくさん使うこと。
- もっと口を大きく開ける**
喉を塞がず、手で口を塞がず、口をしっかり開けましょう。
- もっと声を出す**
声帯に力を入れず、リラックスして喉を開いて声を出します。
- もっと唇や舌を使う**
しっかりと両唇を合わせる、舌を歯の裏にしっかり押し付ける。

聞き返されない英語の話し方 Point 1 BONUS解説

センテンスか短くてもフレーズで答える

単語一つだけで答えると、その発音が間違っていると完全にアウトになってしまいますが、前後によくセットで使われる語が付いていると分かりやすくなります。

聞き取れた部分を手掛かりにして理解してくれるからです。主語と動詞と補語、または目的語がちゃんとあり一文として完結しているともっといいです。

聞き返されるのが嫌という人は、単語だけで答えるのをやめて、短くていいので**センテンスで答える**ようにすると、たとえ発音が分かりづらい語があったとしても、前後で類推して分かってくれます。

話をするとき、通常、相手は無意識に分かろうとしてくれますから。

例えば、**think**。

「シンク」だけだと通じなくても、
「アイシンクソー」だったら、
I think so. のことだと分かってくれる
確率が上がるわけです。



「シンク」だけだと sink なのか think なのか判別できませんが、「アイ」と「ソー」が前後につけば、動詞は think だったと特定できます。

また、**I sink so** という文は考えにくいので、「アイシンクソー」と聞けば、例え **think** の発音が **sink** や **shink** になっていたとしても、多分 think のことなのだろうと、相手が補いながら聞いてくれるからです。

(ちなみに **shink** という単語はありません)

聞き返されない英語の話し方 Point 2 BONUS解説

ストレス（強勢）を意識して話す

例えば、
interesting を インタレスティング、
communication を コミュニケーション



と発音する人が多いですが、英語で話したときに、ストレス（強勢）が付いてない人がほとんどです。

ここでいうストレスは音の強弱のことで、一般的にいうストレスとは違います。

interesting は **i**nteresting イントウレスティン（グ）
communication は comm**U**nication コミュニケーション と、
太字部分を強めて発音します。

そして、強める部分は、声が大きくなり、長くなります。

一方、日本語は強弱ではなく高低を重視します。



あめ（雨）と あめ（飴）は
イントネーションでどちらなのか区別しています。
日本語はイントネーションが変わるだけでことばが変わります。

英語ではどうでしょうか？

英語にもイントネーションはありますが、強弱と紐づいています。
英語の場合、まず強弱を意識することが大切です。

強弱がついていない英語や強弱が間違っていると、英語は分かりにくくなります。

私が初めて海外に行ったときの失敗談は以前ブログでご紹介したとおりですが、**強弱があべこべ**とか、**変なところを強めて**しまうと、他の部分が正しくても、**とことん通じなくなってしまう**ことさえあります。

▶私の失敗談ブログ記事▶ <https://school.rie.london/blog/03>

聞き返されない英語の話し方 Point 3 BONUS解説

他の言語と比べて外来語として日本語になっている語が英語には沢山あります。

ですが外来語はカタカナで書いてあってもあくまで日本語です。

英語ではないのでカタカナのまま言っても通じないことが少なくありません。言おうと思っている外来語が**英語でどんな音なのか**確認してみてください。

Ubiquitous

今ではおなじみの「ユビキタス」ですが

英語では **ユビ**クイトゥス※という感じです。

「ビ」の部分を強く、大きく、長めに発音します。

Ub**i**quitous



※ 発音記号の読み方を知らないで発音記号で書いてもわからないので、便宜的に読みをカタカナで書いています。

外来語と言えば、昔は漢字の熟語も外来語でした。

漢字の熟語は筆談なら通じてても、日本語読みのまま漢字熟語を発音したとしたら、残念ながら中国人には通じませんよね。これと同じです。

日本に長いこと住んでいる中国人なら分かってくれるかも知れませんが...

外来語になっている英単語も、カタカナの音と実際の英語の音ではだいぶちがうので、**カタカナをそのまま発音すると通じないことが多い**わけです。



Thank You!

今回お伝えした7つのポイントをしっかりと理解し、実践すれば、一つ一つの英語の音が正確に発音できなくても、聞き返されることがグッと減ります。ぜひ実践してみてください！

発音のことを本格的に知りたくなった方、先へ進みたくなった方、ご連絡ください。

イギリス在住 会議通訳者
発音改善コンサルタント 英語発音指導士®
平松里英

Rie Hiramatsu

@RIELONDON

SCHOOL.RIE.LONDON

COURSES@RIE.LONDON